



防災について考えてみませんか

◆結成までの手順（例）◆

- ① 自主防災組織の結成について自治会や町内会に提案する。
- ② （自治会や町内会で）結成準備を行う担当者を決める。
- ③ 自主防災組織の基本的な事項について検討する。
- ④ 役員会に提案し検討・協議する。

- ・組織の形の決定
- ・組織の編成について
- ・役員の人選
- ・規約案作成
- ・連絡体制
- ・収支見込み

- ⑤ 役員会の了承を得る。
- ⑥ 自治会や町内会総会で、検討・協議・可決する。

自主防災組織の結成

■ご相談ください

規約や予算の作成など難しく感じてしまう部分があると思います。その際にはお気軽に役場総務課情報グループにご相談ください。

◇自主防災組織の活動助成

結成済みの各団体では、災害発生時の役割分担などを定めた組織体制や緊急連絡用の連絡網などを作成しています。また、それぞれ防災資機材の整備や非常時持ち出し品を各家庭に配布するなど、地域が必要とされる活発な活動が行われています。

その際の活動助成として結成初年度、結成交付金として4万円、次年度からは各団体

結成交付金

| 交付基準 | 交付金額 |
|-----------------------------|------|
| 自主防災組織結成初年度に1組織 1回を限度に交付 | 4万円 |

活動助成交付金

| 交付基準 | 均等割 | 世帯数 | 世帯割 |
|---------------------------|---------|---------|---------|
| 結成交付金の交付を受けた次年度より右記を毎年度交付 | 15,000円 | 1～100 | 5,000円 |
| | | 101～200 | 10,000円 |
| | | 201～300 | 15,000円 |
| | | 301～ | 20,000円 |

の世帯数に応じて、活動助成金を交付しています。なお、結成交付金は、今年度限りで終了となります。

◇体験プログラム

胆振東部消防組合安平支署の協力により、水消火器を使った消火訓練が行われ、全児童が参加し、的に向かって水消火器を発射して使用方法などを体験。体育館では、ダンボールで自分の寝床作りに挑戦。避難所では、どのように自分のスペースを確保するか工夫を凝らす様子が伺えました。

◇炊き出し訓練

夕食は、保護者の協力で避難所の炊き出しに見立て、備蓄用の白米（アルファ米）を使用しカレーライスを作り保存食を体験しました。

◇訓練を終えて

災害時の心得や助け合いの精神を学ぶため「近所で近助」をスローガンに開催された本事業は、地域が一体となって実施され、まさにスローガンが体現されたものでした。



遠浅防災キャンプは、室蘭地方气象台、苫小牧警察署、胆振東部消防署安平支署などの協力のもと実施されました。町としても、このように地域で取り組む活動を支援していきますので、ご相談ください。

自主防災組織の結成に関するご相談もお待ちしております。
問合せ 総務課情報グループ ☎2511